

# 選 定 法

チェン・ギヤ無段変速機を選定するには、次の事項について御検討下さい。

1. 被動機に必要な仕事量とトルク。
  - ①トルク一定の場合  
最高回転時における消費仕事率とトルクを基準とする。
  - ②仕事率一定の場合  
最低回転時における消費仕事率とトルクを基準とする。
  - ③特殊な変化をする場合  
最高及び最低回転時と中間における消費仕事率とトルクを求める。
2. 被動機の最高及び最低回転数、又は変速比率。
3. 変速機と被動機の間減速機があればその減速比。
4. 起動停止回数。負荷の性質、特にショックの有無又は大きさ及び頻度。
5. 1日の作業時間。

## 使用係数

4と5の条件によって使用係数 f を選んで下さい。

使用状態		A <small>(注1)</small> 起動停止回数少ない 負荷変動少ない	B 起動停止回数多い 負荷変動多い	C 衝激負荷が連続する 場合
1日の作業時間	10時間以下	1.0	1.35	1.7
	10時間以上	1.35	1.7	2.0

注1：一つでも条件のきびしいものがあれば、Bの使用係数を選んで下さい。

注2：GN型、1.04:1～1.22:1の間で使用状態Bまでの時は使用係数を考慮する必要はありませんが、使用状態CのときはBの使用係数となります。

1.35～1.5:1以上のときは使用係数1の場合を示します。

# 計 算 法

## 変速機定格の計算式の例

1. 本カタログすべての定格は使用係数1の場合を示します。被動機の使用条件により使用係数を考慮してご選定下さい。
2. 許容仕事率及び出力回転数は入力軸回転数に比例します。
3. 入力軸回転数と出力回転数との関係は次の通りです。

$$\text{出力軸最高回転数} = \text{入力軸回転数} \times \sqrt{\text{変速比率}}$$

$$\text{出力軸最低回転数} = \text{入力軸回転数} \div \sqrt{\text{変速比率}}$$

4. 動力の公式

$$1\text{PS} = 0.7355\text{kW} \quad P = \frac{N \cdot T}{716.2} \quad [\text{PS}]$$

$$1\text{kgf} = 9.80665\text{N} \quad P = \frac{N \cdot T}{974} \quad [\text{kW}]$$

$$P = \frac{N \cdot T_n}{9549} \quad [\text{kW}]$$

T : トルク [kgf·m]

Tn : トルク [Nm]

N : 回転数 [min<sup>-1</sup>]

5. モートル付の場合の出力回転数は負荷の大きさや変速比によってモートル回転数が変動しますので、定格出力回転数を保障するものではありません。